

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> 各時間のねらいや評価基準をわかりやすく生徒に伝える。 中学生になり、できることを増やしていくことを目標にさせるように取り上げる内容や課題を工夫する。 4つの観点がバランスよく評価できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート作成時において、評価の観点を定め、わかりやすく評価を行うように工夫する。 授業時にねらいや観点を説明し、特に取り組ませたいポイントを知らせる。 自由服を考えさせるために、最初の課題として取り上げる。 調理実習をできるだけ多く取り入れ、食生活に興味を持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程で、ひとりひとりの生徒に応じた助言や具体例の提示などを行う。 作業や実習にできるだけ時間をかけ、自分で考えるようにさせる。 ワークシートや授業の様子等、できるだけ毎時間こまめに評価を行い、生徒に早めに返すようにする。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> 各時間のねらいや評価基準をわかりやすく生徒に伝える。 衣食住の題材を取り上げ、実生活につながる実習や作業をさせるように工夫する。 4つの観点がバランスよく評価できるように取り上げる内容や課題を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート作成時に評価の観点を定め、わかりやすく評価を行うように工夫する。 衣食住に関わる様々な内容を取り上げるので、授業時にねらいや観点を説明し、特に取り組ませたいポイントを知らせる。 実習や作業をできるだけ多く取り入れ、いろいろな体験を通して、少しでも実生活に生かしていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程で、ひとりひとりの生徒に応じた助言や具体例の提示などを行う。 小学校での学習や日常生活での活動が生かせるようにする。 ワークシートや授業の様子等、できるだけ毎時間こまめに評価を行い、生徒に早めに返却するようにする。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> 各時間のねらいや評価基準をわかりやすく生徒に伝える。 子供の成長を中心に学習するので、ふだんから周りに目を向け、観察をさせるようにする。 4つの観点がバランスよく評価できるように取り上げる内容や課題を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート作成時において、評価の観点を定め、わかりやすく評価を行うように工夫する。 幼児と関わりの題材を多く取り入れ、実習や作業をできるだけ多く行なう中で、今まで積み重ねた体験を、生かしていくように工夫させる。 授業時数が大幅に減るので、1時間ごとの区切りを明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程で、ひとりひとりの生徒に応じた助言や具体例の提示などを行い、考え工夫する時間を多くとる。 授業時数が大幅に減るので、ワークシートや授業の様子等、できるだけ毎時間こまめに評価を行い、生徒に早めに返却し、次につなげられるようにする。